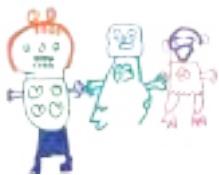


AJU



ラルシュかなの家便り



AJU

ラルシュかなの家便り

No.290

2021 秋号

2021/10/05



発行：社会福祉法人 ラルシュかなの家

〒421-2114 静岡市葵区安倍口新田65-5

TEL : 054-206-0830 FAX : 054-294-8070

E-mail : larchekana@s9.dion.ne.jp HP : <https://larchejapankana.localinfo.jp/>

ブログ : larchekananoie.blog.fc2.com

振り込み口座:00820-4-153325 ラルシュかなの家 (ご寄付用の振込)

かなの家の田んぼと畠



夏野菜が長梅雨と8月の長雨で、キュウリは枯れてしまい、トマトも元気が無く、実がつきません
枝豆も実が大きくなってきたと思ったら、虫にやられてしまいました。スイカも後半の物は腐ってしまいました。

かなの家で販売している石鹼と一緒に売るために、スポンジとして使うヘチマは元気に実をつけ始めました。茄子とオクラは、なんとか実を実らせています。畠はこれから、冬野菜の準備で忙しくなります。畠に石灰を今年は雨が多くだったので多めに蒔いて、耕かします。少し間を置いて、畝という土を直線状に盛り上げて苗を植える状態にします。

溝を掘って、堆肥や化成肥料を入れて、土を戻して盛り上げて畝にします。
その間に、苗ポットに白菜、キャベツ、ブロッコリーの種蒔きをして、次には畠に種を直蒔きする、人参、水菜、小松菜、チンゲン菜、春菊、大根を植え。
畠に作った苗床に玉ねぎを植えます。その間にポットに撒いた、白菜、キャベツが大きくなると畠に移植します。まだ暑いなかをなかまの人達が頑張って野菜作りをしています。

田んぼは、いよいよ稲刈りを迎えます。今年作っているキヌヒカリは生育期間が短く、9月初旬から中旬に出来そうです。風には強いといわれる品種ですが、台風が来る前に稲刈りが出来るといいです。

ゆたか



奇跡のイラスト



なかまが描く作品たちはいつも私を笑顔してくれます。ひとつひとつの作品には、表現することに制限がなく、なかまの想像力は果てしなく広がっています。ここでは、LINEのスタンプの誕生秘話をお話したいと思います。

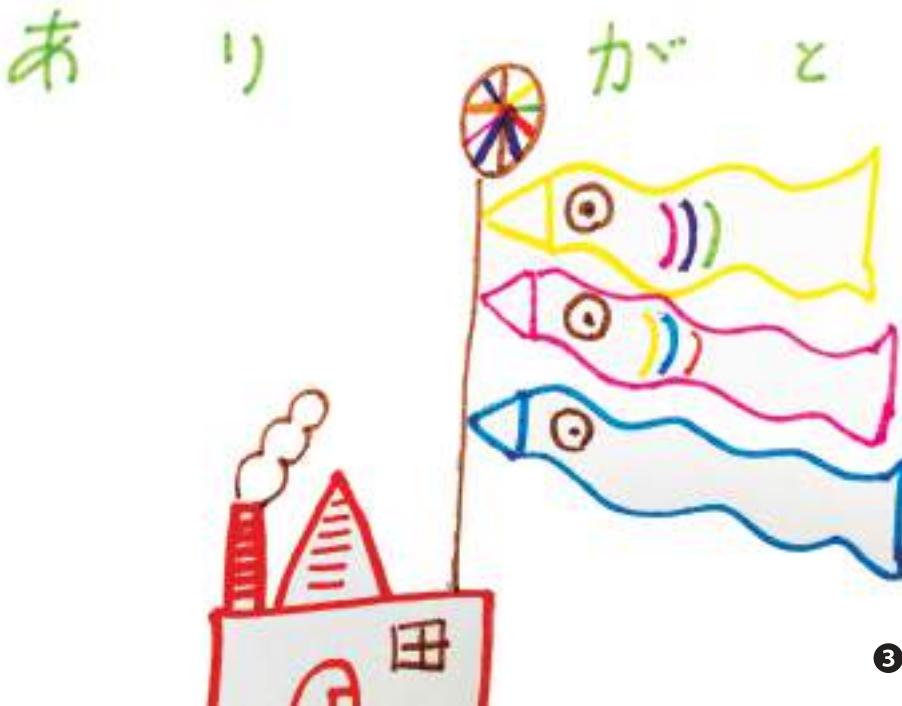
せっけんを買ってくださったお客様にお渡ししている「ありがとうカード」を一目見て、「これは…!!」と心が大きく動かされました。はがき大サイズの小さな紙の上に、見逃せないストーリーとキャラクター達が集まっています。誰も想像しない、誰も想像できないようなものばかりです。落ち込んだ時は、カードの1枚1枚に目を通しているだけで、いつの間にか笑顔になっています。ただの薄くて小さな紙なのに、みんながその紙に描くと、ものすごいエネルギーが加わって、見ている人の気持ちを変えてしまうのです。

私は働き始めて3年が過ぎ、なかまの暮らしの現実的な問題も見えるようになってきました。なかまが生き生きとそしてこれから安心して暮らし続けるためには、ある程度の収入も必要です。様々な社会福祉の仕組みがありますが、収入の現状は全国平均でも月に約15,000円程度です。この金額を聞いて少しでも多い方が良いと思うのは、間違っていることではないと思

います。綺麗ごとでは片付きません。なかまの高齢化に伴い、できる仕事が減ってきているなかまもいます。高齢化は止まることはありません。しかし、歳を重ねても絵を描くことは続けることができます。そしてその作品達は人を笑顔に変えることができる奇跡の力を持っています。人の心を動かすことができる事は、どんな物事にとっても強みです。自信をもって発信していくと思いました。

「世界中の人になかまの作品を見てもらいたい」今日では、この思いを容易に叶えることができるツールで溢れています。LINEは日常的で、多くの方々が使っています。ラインスタンプを楽しく使うことで、その瞬間が充実した時間になっていたらそれは、使ってくださる方とスタンプの作者のなかま達とが、お互いに豊かになることができる条件が揃っていることだと思っています。ラインスタンプを見て、他のなかまの作品にもご興味を持って下されば幸いです。ご支援をして下さるお客様皆様に心から感謝申し上げます。

ハル





グループホームいぶきの話をします。

私が住む「いぶき」の庭には小さな生命の為のお墓があります。
そのお墓にはひとさんの飼っていた金魚、、、庭で干からびてミイラになった蛇の赤ちゃん(発見した時は、かなりびっくりでした、ミミズかと思ったら、蛇!)
そしてある朝、いぶきの駐車場に息絶えていたウグイスが横たわっていました。

「お墓にいれてあげない?」

私の呼び掛けにいぶき園芸部の(と勝手に私は命名します。)その部員の二人である、青野さん、ひとさん。彼らはすぐに動いてくれました。朝食を後回しにして。
私がスコップで穴を掘り、あおのさんは本当に優しくそっとウグイスを両手で包み優しく運んで、ひとさんは小さな花を摘んで小さな瓶に飾りました。
そしてウグイスを地面に掘られた穴にいれて寝かせました。順番にスコップを回し一人一人丁寧に土をかけていき、そして完全に埋まったお墓に向かい合掌しお祈りしました。(二人の祈る姿が、あまりに美しく、思わず撮影しました。)

第一発見者のすまいアシスタントのゆりこさんに、無事に土に埋葬した話を伝えたら。「あのウグイス、最後の死に場所をいぶきにしたんじゃないかなと思います。」と呴きました。

その言葉に私は、はっとしました。

心優しい二人に手厚く埋葬してもらったウグイス。

確かに、、、猫は死に場所を自分で選ぶ、と聞くし。

もしかしたら鳥もそうするのかもしれません。

「すずめいないねー」といつも心配そうに優しく窓の外を気にしているのは生子さん。
その声も届いていたかもしれません。

「そら」という犬もいぶきには住んでいます。アスファルトの上は熱いから可哀想だからと、犬の靴をネットで取り寄せ、履かせて散歩する優しい政一さんなど、いぶきは優しさにあふれています。いわば足久保地区の生き物界隈には、既に有名になっているのかもしれないなあと思います。このウグイスも、最後は優しい人たちがいる場所で、と、選択した説はまちがってないかも知れません。

いぶきの庭は美しくさるすべりの色鮮やかな桃梅色の花が咲いています。ポポや皆で選んだブルーベリーも成長も日々の楽しみです。

ふみえさんの家から移植されたグランドカバー(ヒメイワダレ草)も地面に張って可愛らしい小さな花を咲かせながら、本当に力強く増えつづけてくれ、固い茶色い土の庭が、今は芝生のように裸足で歩けるスペースができています。

芝生が出来てきてる様子みて、仲間と共に私も感謝と喜びを感じています。
その中にこの小さなお墓もあり、なんとも素晴らしい樹木葬ができます。

このように、いぶきの庭は、、、

私にとっても、生きる強さと美さを実感できる大切な場所となっています。

これからも、そこに住む優しい住人たちの思いと共に、庭作りを細々と楽しんでいいたいなあと思います。

なお



ウチ

ナル

コエ

私が想像する美佳さんの世界

美佳
みか

美佳さんには、言葉がありません。ですが、その分喜怒哀楽を顔の表情や、目ではっきり伝えてくれます。少し悲しそうな表情のとき、とっても笑顔のとき、涙を流しているとき、少し怒ったような顔をしているとき、なんとなく慰めてくれるときなど、きっと一つ一つに想いがあって、ありのままを表現てくれていると思います。そして、もう一つ美佳さんが表現してくれるもの、それが今回のウチナルコエです。

美佳さんは、ご両親が大好きな中日ドラゴンズのタオルをいつも首にかけていますが、時間が経つと、なぜかねじれています。そのねじれはゆっくりできていきます。私は想像します。かなの家では、毎日いろんな出来事が仲間やアシスタントの中で起きています。その出来事をそっと見ている美佳さんは、きっと想うこともあるかもしれません。そんな想いが強ければ強いほど、もしかすると、手に力が入り、タオルがねじれていくかもしれません。真実は美佳さんしか分かりませんが、そのねじれは、毎日に刻まれては消えていきます。そのねじれを目見えれる形で残すことが、美佳さんの毎日の足跡を残すことに繋がるのではないかと思います。今までも、アシスタントが美佳さんの表現を大切に、薄葉紙を使って美佳さんがねじったものをアート作品として展示したことありました。今回は、こちらで用意したタオルを美佳さんになじってもらい、そのねじれに絵の具を付けて、紙にスタンプのように押して、ウチナルコエをアートで表現してみました。これからも、美佳さんから発するウチナルコエにそっと耳を傾け続けていきたいです。

ぱぴょん



～ねじりアート～



ラルシュ・インターナショナルがzoomでつながるお祭りを企画しています。

そのラルシュ光祭りにラルシュかなの家はオープニングの劇を担当します。

かなの家流人形浄瑠璃にチャレンジします！

「ラルシュはお祝いする場所を作りたいと思っています」

信頼を祝い、

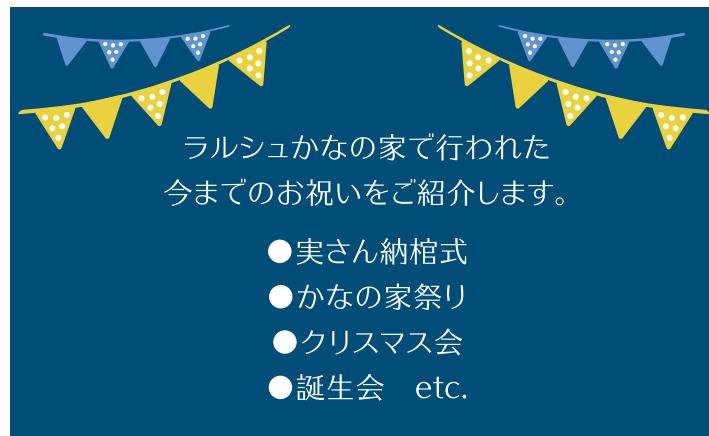
悲しみ、苦しみのある人生を祝い、

すべての人の尊厳を祝いたいと思っています。



お祝いには、障がいの有る無し、肩書き、上下関係の境がありません。

相互関係を感じる時です。



かなの家では毎月1回2日に分けて、かなの家の近所に住んでおられる寺澤節雄先生を講師として招き、絵クラブを開催しています。かなの家のなかまは絵クラブをとても楽しみにしていて、月が変わる頃になると、いつ絵クラブがあるのか気にして過ごしています。絵クラブの日には、サクラクレパス様からご提供頂いている「ニューサクラカラー」を使って、それぞれのなかまが思いおもいの絵を描きます。写実的な絵を描く人は少ないですが、色彩も形も自由で豊かな表現の絵を描いてくれます。活動が終わって、アシスタントがまどいに帰ってくると「今日描いた絵を見にきて」と、自分が描いた絵のところまで手を引き「私の絵、良いでしょ」と目を輝かせて見せてくれます。絵クラブが、なかたちにとって自己実現の大切な時間となっていることがわかります。コロナ禍で表現の場が少なくなっている中で、本当に有難いことです。絵クラブが今後とも長く続していくことを切に願っております。

なかまの素敵な絵画を以下の方でご覧いただけます。

機会がありましたら、是非。どうぞよろしくお願ひいたします。

佐藤 啓



かなの家絵クラブ



「かなの家カレンダー原画展」

2021年10月29日(金)~11月8日(月)

10月31日(日)、11月3日(水)、7日(日)休館日

ギャラリーオープン時間 平日8:30~20:00、土曜日8:30~17:00

場所 静岡県教育会館ギャラリー(静岡県教育会館 静岡市葵区駿府町1-12)

なかたちの描いた絵を楽しんでいただけたら幸いです。



かなの家のなかたちの絵をカレンダーとして販売いたします。なかたちの描く心豊かな光の世界をお楽しみください。

●「ラルシュかなの家CALENDAR2022」A4サイズ壁掛けカレンダー1冊550円(税込)

お申し込み・問い合わせ先

ネットショップorお電話でお申し込みください。

社会福祉法人ラルシュかなの家かなせっけん発送所

〒421-2114 静岡県静岡市葵区安倍口新田534-3 Tel: 054-296-1116 Fax: 054-296-6433 mail: kanasekken196@gmail.com

ネットショップ kananoie.shop-pro.jp

ネットショップでのご注文方法

①最初の画面の右端「お問い合わせ」をクリックしていただき、フォームに従って、お名前、アドレスをご記入ください。

②(お問い合わせタイトル)を「カレンダー購入」とし、

③(お問い合わせ内容)に、ご希望の冊数、ご住所とお電話番号をご記入ください。

送料についてはネットショップをご確認ください。



ありのままの自然な「命」を大切に

かなせっけんは、ありのままの自然な「命」に優しいせっけん作りを目指しています。

プラスチックを減らしていく取り組みを、なかまと一緒に試行錯誤しながら考え、お客様のご理解とご協力のもと、たくさんの製品を紙パッケージに変えることができました。本当にありがとうございました。

これからも人や環境「命」に優しいせっけんを作っていくたいと考えています。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

ご注文はこちらまで

社会福祉法人 ラルシュかなの家 かなせっけん発送所
☎054-296-1116
HP <https://larchejapanakana.localinfo.jp/>
ONLINE SHOP:kananoie.shop-pro.jp



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

(福) ラルシュかなの家は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

